

航空写真で見るハイジア・大久保病院と歌舞伎町（1）

《戦前の航空写真》

【昭和 3 年（1928 年）頃の航空写真】



（出典）「新宿風景Ⅱ」（新宿歴史博物館）

【航空写真】

- 新宿駅東口から現歌舞伎町 1 丁目地域の昭和 3 年頃の航空写真（開業 49 年目）戦前の周辺地域の状況を記録した貴重な写真

【説明】

- 左上の建物が府立第 5 高等女学校。大久保病院はその左上に位置しますが、写真には写っていません。なお、この当時、病院は再建工事中でした。
- 靖国通りも拡幅されておらず、また地域の区割も現在とは異なっていました。
- 地域の商店は、住民相手の商店（乾物屋・米屋・豆腐屋・下駄屋など）がほとんどで、また西大久保方面は官庁や陸軍省勤め関係の人たちのお屋敷街だったといえます。

《戦争直前・直後の航空写真比較》（1）

【昭和 10 年代・1936 ～ 1942 年当時の航空写真】



（出典）国土地理院データベース

【航空写真】

- 現歌舞伎町・大久保地域の昭和 10 年代の航空写真（開業 60 年目位）。昭和 20 年 4 月の空襲前の病院・地域の状況を記録した写真

【説明】

- 病院は本館をはじめ、病棟が職安通りに向かって並んでいました。また、正面玄関先には看護宿舍等がありました。
- 近くには府立第 5 高女の建物が見え、地域全体に住宅が建て込んでいました。高層の建物は、病院・学校以外にありませんでした。



戦災直後の新宿東口の風景（昭和 20 年）（出典）「新宿区 15 年のあゆみ」（新宿区）

《戦争直前・直後の航空写真比較》（2）

【昭和 20 年代・1945 ～ 1950 年当時の航空写真】



（出典）国土地理院データベース

【航空写真】

- 歌舞伎町・大久保地域の昭和 20 年代前半の航空写真（開業 70 年目位）戦争による被害状況を記録した写真

【説明】

- 左の空襲前の写真と比べると、ほとんどが焦土と化しており、地域全体の被害がいかに大きかったかが分かります。
- 歌舞伎町地域は、昭和 20 年 4 月 13 日の山の手地域大空襲（B29 が約 160 機来襲）でほとんどが焼失してしまいました。府立第 5 高女も全焼しました。
- 病院も看護宿舍等の木造建築物が焼失しましたが、本館は焼け残りました。
- 一方、空襲から数年が経っていますが、復興はまだ進んでいませんでした。なお、戦争の痕跡は現在でも残っています。



（出典）「新宿区平和マップ」（新宿区）

焼けただれた幹が残っている稲荷鬼王神社のスタジイ

【参考】府立第 5 高女の校舎の焼失状況（村田静子氏）

「校舎焼失
二十年四月十三日、夜半一時頃、付近及び校地に焼夷弾多数落下、二幸裏付近から火災おこり、全校舎火の粉に包まれ、手押しポンプとバケツリレーでは手の施しようがない。当夜防衛宿直員として泊っていた専攻科生十数名の生命を守ることを第一と考え、女子職員の引率下に、戸山ヶ原方面に避難させ、男子職員は残留注水に努めたが、講堂、本館にまで延焼するに及んで止むなく、裏門から退去。戸山ヶ原方面にも火災を認めたので方向を変え、全員大久保の通りを経て農場へ向かう。
四時半、学校へ引返した時は、残存する建物一つもなく、朝駆けつけた生徒の眼には、焼けた校門の柱に、何日集合と「生徒に告ぐ」の貼り紙があるばかり。焼跡は瓦礫の山。まだ煙がぶすぶすとあがり、金庫が一つ、ポツンと立っていたという。」

（出典）「地図で見る新宿区の移り変わり 淀橋・大久保編」（新宿区）